

令和4年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	障がい者野球チーム 横浜メイキングス		
団体の属性	☑セルフヘルプグループ・当事者等		□ボランティアグループ等
	□市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	☑一般助成	□協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	障がい者スポーツ活動支援事業（野球部門）		
事業の目的	障がい者スポーツ活動新事業（野球部門）		
事業概要	<p>障がい者を中心としたメンバーの”野球がやってみたい”と言った気持ちを実現する場として、軟式野球チーム活動を実施。それぞれの個性・特性を理解しつつ、メンバーが互いを思い合いながら、原則週一回4時間の練習と、個性・特性に合わせた試合（障がい者野球チームとの交流試合や健常者チームとのリーグ戦参戦）などの活動を実施している。</p> <p>また、育成やメンバーおよび家族の憩いの場（居場所／サードプレイス）としても力を入れると言った観点から、幅広い年齢層と障がい範囲（手帳保持者および準抛者も含む）や、横浜市金沢区をホームグラウンドとして活動するも、神奈川県内全域および東京都からの参加者も受け入れて活動している。</p> <p>メンバー（令和4年3月末現在：選手59名、賛助40名、準賛助13名） 選手内訳： 未就学（1名）、小学生（8名）、中学生（19名）、高校生（8名）、 18～29代（15名）、30～39代（0名）、40～59代（6名）／50～（2名）</p> <p>参加市域： 横浜市（64名）、川崎市（8名）、横須賀市（6名）、鎌倉市（3名）、藤沢市（6名）、 相模原市（2名）、海老名市（4名）、三浦郡（3名）、東京都（16名）</p>		
成果や課題	<p>コロナ禍にて様々な活動制限や対面制限などがあった状況下、孤立しがちなメンバー個々においては、安心して活動できる場にて相互の思いやりや自信が育まれると同時に、仲間の獲得や憩いの場（サードプレイス）としての位置付けも推進されたものと思われる。</p> <p>課題としては、メンバー数の増加に伴い、安全&amp;確実な活動場所の確保が難しくなっており、今後関係各所との連携なども検討して行きたいと思っている。</p>		
今後の展望	<p>メンバー数が増えた事および多様なニーズがあることから、助成事業の野球チーム活動を中心に来年度より多様なスポーツへの参画を目指した、「障がい者スポーツマンクラブ」として、運営を一般社団法人（非営利共益型）へ移行し活動の継続および活動地域拡大（神奈川県北西部域へ）を目指して行く。また、スポーツ活動のみならず、当事者組織としての強みを生かし、様々な障がい者活動のサポートも行っていくと考えている。</p>		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付			